



代々継がれし土地の歩みに若き作庭士により、今 一度命が吹き込まれ感動の土地に蘇った





土地の歴史

ここは喧騒から離れた高台に佇む歴史ある土地、清水寺。約2000年前弥生時代に煮炊きで使われた土器の遺跡が発掘された。地に宿る生命に遡ること1560年桶狭間の戦いで今川義元が率いる数万ともいわれる大軍に織田信長は少数で挑み、日本史上の大逆転に勝利をおさめた名高いこの戦いで信長が経由にした

3砦の一つ丹下砦があったとされている。先祖代々に引き継がれた地にあやかり当時の強運を引き寄せ仕事や恋愛の運気がアップし、良縁や幸運が舞い込むパワースポットとして感じられます。現在の景色は西は鈴鹿山脈、南は緑区を一望と風光明媚な土地としながら先代が残された自然豊かで四季折々の植栽に囲まれた庭園に再度命を吹き込み、心地の良い落ち着ける空間へと変化を遂げた。



弥生の丘で発掘された弥生土器



弥生土器

初期鉄器時代に使用された素焼の土器。縄文土器より高い温度で焼かれ赤茶色をして形もシンプルまた、農耕がはじまったことで生活もそれまでとは変わり土器は用途に合わせて形を変え利用されるようになります。



(たんげとりで) 丹下砦

丹下砦は、織田信長が今川義元との戦いの際に鳴海城を囲むように築いた三砦の一つ。所在地は愛知県名古屋市緑区鳴海町清水寺。

